

# 東京湾海況情報 23-1

## 東京湾水質調査結果（平成23年4月）

（平成23年4月15日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 4/5：内湾(わかふさ)、4/6：内房海域(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(4/6)、東京湾口海況図(4/6)  
 モニタリングポスト(4/5：国土交通省関東地方整備局)  
 神奈川県水産技術センター(4/5)、千葉県環境研究センター(4/6)

東京湾海況情報は、毎月1回行っている水質調査の結果をとりまとめ、ホームページで公開しています。どうぞ御利用願います。

### 【水温・塩分の状況】

湾内の表層水温・塩分(図1)は、12~15℃前半・31台~34台前半になっています。水温は全域で平年より低く、内湾では-2~-3℃とかなり低い状態でした。塩分は内湾で高めとなっています。底層(図2)では、内湾中央部に34以上の高塩分の水塊がみられました。また、内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、水温・塩分とも表層~水深16m付近まではほぼ一様に分布していました。

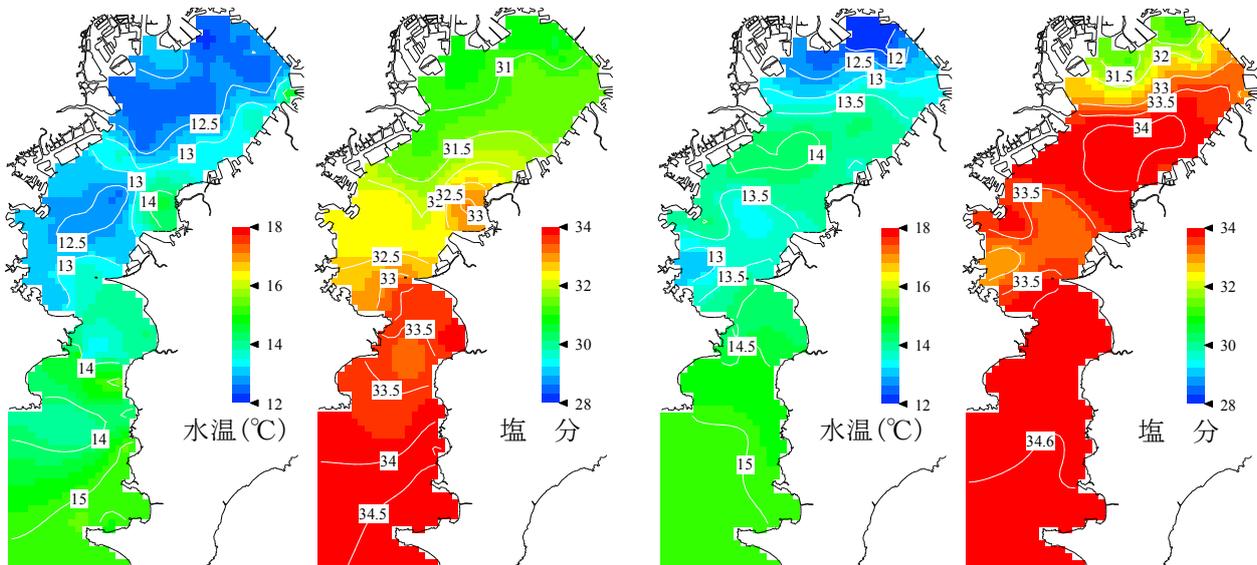


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

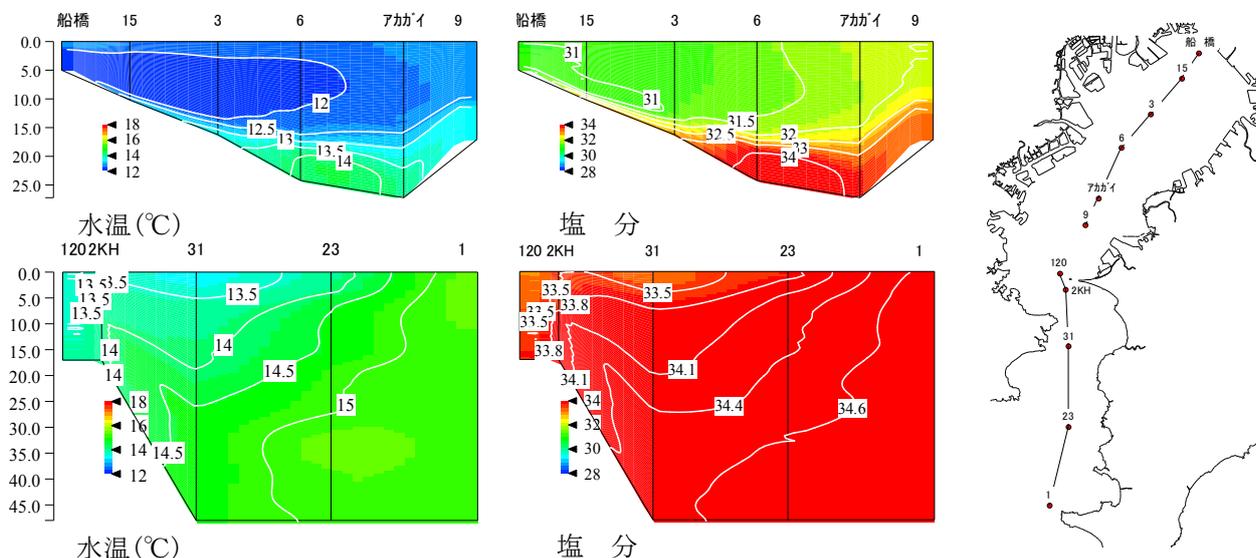


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

## 【 赤潮の状況 】

赤潮は湾内全域で見られませんが、内湾中央から北部海域ではpH(表1)が8.4~8.5とやや高い値を示し、透明度は場所によって2m台になっているところがあります。水色はおおむね黄緑基調でした。

プランクトンも湾内全域で少なく、その種類の大半はケイ藻で占められていました。なかでも、内湾から内房北部海域はスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、保田からと富浦にかけての周辺海域ではユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)が多くみられていました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

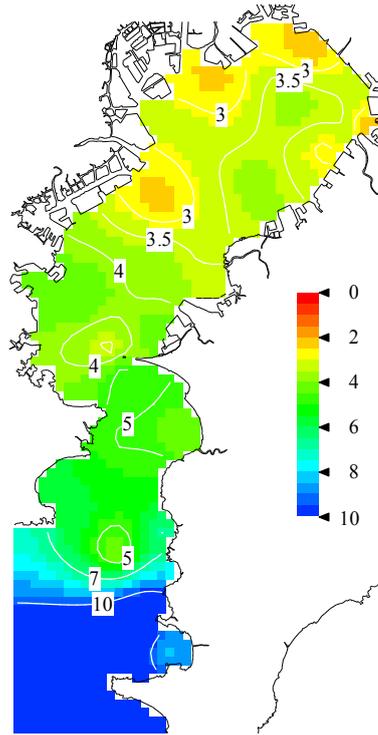


図4 透明度の分布(m)

## 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は千葉港の沖で低下しており、貧酸素水に近い水塊がみられました。

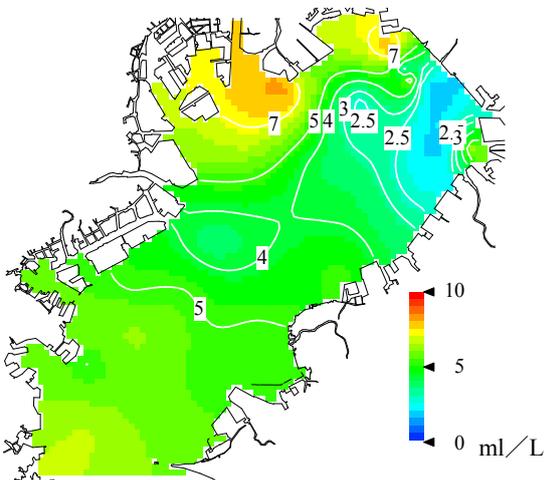


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

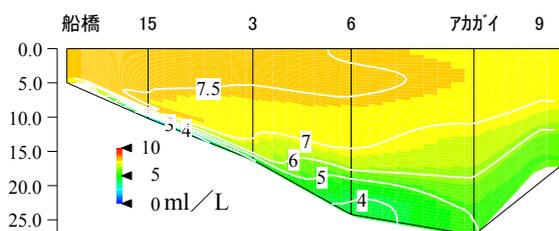


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

## 【 栄養塩の状況 】

表層の栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)は内湾および内房海域ともほぼ平年並みでしたが、リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)は全域で平年より少なく、内湾では極端に少なくなっていました。

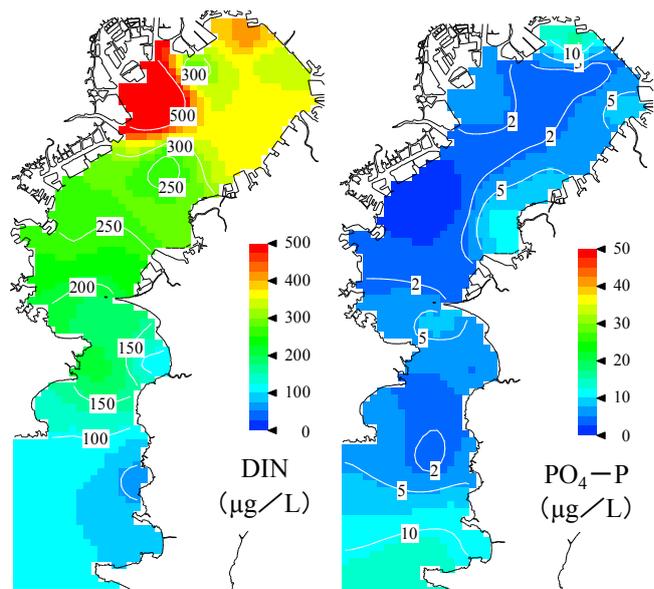


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はほぼC型基調で推移し、その流軸(図8)は八丈島の南を通り、房総半島南東岸を北上しながら流れている模様です。

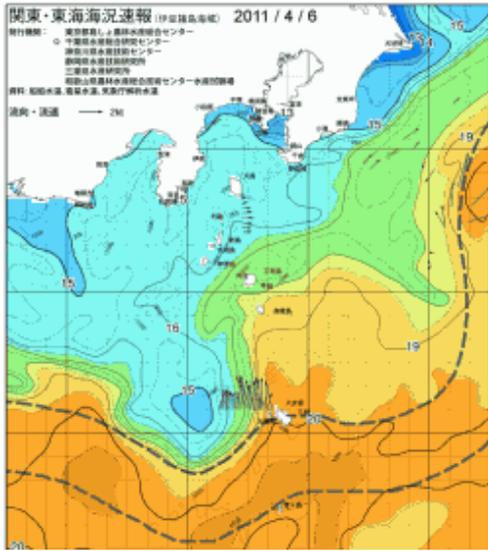
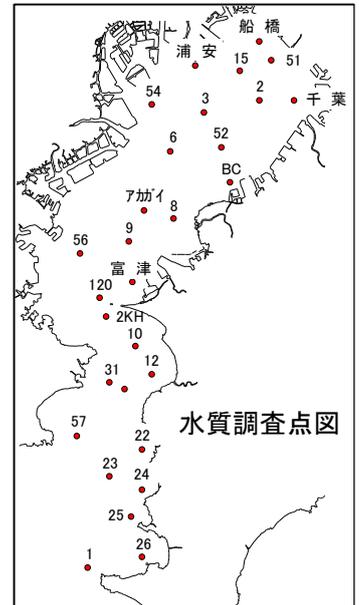


図8 黒潮の動き (平成23年4月6日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2001~2010年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	12.4 (15.4)	30.71 (31.82)	2.4 (2.1)	8.4 (8.4)	7.6 (6.0)	48 (66)	414 (264)	15 (30)	9.5
	st. 15	12.3 (14.8)	31.16 (29.96)	3.6 (2.6)	8.5 (8.6)	2.6 (4.7)	5 (41)	348 (355)	1 (10)	2.4
	st. 3	12.1 (14.6)	31.04 (30.10)	3.3 (2.7)	8.5 (8.6)	4.2 (3.9)	7 (30)	373 (387)	1 (4)	6.1
	st. 6	12.3 (14.2)	31.37 (29.96)	3.2 (3.3)	8.5 (8.5)	3.9 (4.1)	7 (49)	298 (456)	1 (8)	5.5
	st. 9	12.5 (14.2)	32.01 (31.15)	3.8 (3.9)	8.4 (8.4)	5.3 (4.8)	5 (29)	242 (298)	1 (5)	5.2
	st. BC (盤洲Cブイ)	13.2 (14.7)	31.96 (31.37)	3.8 (3.4)	8.3 (8.4)	4.8 (4.8)	27 (39)	338 (291)	7 (7)	6.0
	st. 8 (盤洲A南)	14.3 (14.1)	33.04 (31.63)	3.5 (3.9)	8.2 (8.4)	5.1 (4.5)	40 (36)	272 (260)	9 (10)	3.5
	富津	12.9 (14.2)	32.39 (31.75)	4.5 (3.7)	8.3 (8.3)	5.3 (6.1)	14 (41)	225 (257)	1 (7)	5.2
内房海域	st. 2KH (第2海ほ下)	13.5 (14.1)	33.47 (32.93)	5.0 (5.6)	8.3 (8.2)	18 (26)	174 (194)	5 (8)	2.3	
	st. 31	13.1 (14.1)	33.07 (33.11)	5.0 (6.0)	8.4 (8.3)	9 (19)	195 (194)	3 (6)	6.7	
	st. 23	13.8 (15.8)	33.64 (34.24)	4.5 (11.9)	8.3 (8.2)	12 (16)	80 (48)	2 (6)	5.0	
	st. 1	15.2 (15.8)	34.63 (34.41)	14.0 (12.7)	8.2 (8.1)	11 (13)	81 (58)	12 (7)	1.0	
	st. 10 (下洲沖)	13.7 (14.3)	33.55 (33.21)	5.0 (6.4)	8.3 (8.2)	15 (23)	164 (159)	5 (7)	5.1	
	st. 12 (湊沖)	13.9 (14.5)	33.73 (33.37)	4.5 (6.0)	8.3 (8.3)	8 (18)	92 (101)	3 (4)		
	st. 22 (保田沖)	13.9 (15.7)	33.96 (34.28)	7.0 (9.4)	8.3 (8.2)	13 (16)	75 (52)	3 (4)	5.0	
	st. 24 (富山沖)	15.2 (15.9)	34.54 (34.35)	8.5 (12.3)	8.2 (8.2)	9 (17)	31 (49)	5 (6)	3.4	
st. 26 (館山湾内)	15.1 (16.1)	34.59 (34.44)	9.0 (12.3)	8.2 (8.2)	10 (16)	66 (47)	10 (6)			

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。